

市民貢献人会報

苫小牧市後見支援員等連絡会 発行人:村上尚保 ☎38-7291

市民後見人養成講座終了

令和8年6月25日(木)市民後見人養成講座の修了式が行われました。今回の市民後見人養成講座は5月28日(木)に始まり5日間の開催になりました。修了式では渡邊苫小牧市社会福祉協議会会長から各人に祝意を添えて修了証書が渡されました。今回の修了生9名は第28期生となります。平日木曜日の開催となりましたが、他に就労されている方が多い印象を受けました。とまこまい成年後見支援センターは常に皆さまの厚い志に支えられています。今後は法人後見の後見支援員として概ね1年実務研修に移行し市民後見人として個人受任を目指すことになります。

皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



養成講座参加者の感想(市民後見養成講座を終えて)

中 畑 久氏

今まで自分にとっては生活の中心にあった会社を退職したことで他の事に目を向ける心の余裕ができたため今年長生大学に入学したところ学習予定に載っている「成年後見制度」に目が留まりました。そんな時に広報で「市民後見人養成講座」を知り、制度の内容について深く知りたく受講をしました。

1日の長い講義が始まり講師の方々から今まで馴染みのない言葉が次々と繰り出され果たして最後まで受講できるのかと不安もありましたが理解できるように分かりやすく丁寧に説明してくれた事やグループワークなどで討議や交流を深めたことで最後まで受講し修了することができました。

また時には講師から出される問題に対する答えに何かスッキリしないモヤモヤとした消化不良を感じもしましたが現在後見人として活動されている皆さんが被後見人と向き合い何が最善なのかと自問自答しながら活動しているのだと考えると頭の下がる思いがします。

いま講座を終えて思うことはいまは問題なく生活できていても将来誰にでも後見が必要となる可能性は年齢を重ねるほど高くなり、決して他人事として考えるべきではないのだと改めて感じています。

今回判断能力の不十分な人々の権利や財産を守り適切な支援を行うために後見人が果たす役割の重要性を知りました。

また後見人として1番大事なことは本人の意思決定であることも教わりました。誰しもが今まで生きてきた自分を基準に物事を考えてしまいがちであり生き方や考え方も違う被後見人に対して寄り添い活動される大変さもあると思いますが、自分を尊重してくれる後見人は安心して話せることができる存在なのだ。

最後に今回講義をしていただいた講師の方々、講座を開催していただいた社会福祉協議会の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

62 人目

新貝みどり氏 市民後見人受任



私はこの度市民後見人として活動していくことになりました。身内の介護や別れを経験する中で、意思疎通や正常な判断が出来なくなってしまった時にはどうする事が賢明なのかと考えていた時に市民後見人の養成講座があることを知りました。

初めは知識として学習したいという気持ちでしたが、講座では弁護士さんや後見センターの職員の方々やすでに市民後見人として活動している方々の生の話を聞き興味から関心へと変わりました。また以前看護師として働いていた経験もあったので少しでも社会に貢献したいと思いました。

1 年間ほど支援員として関わってきましたが月に一度の面会でいかに被保佐人の変化に気づきどんな援助を必要としているのかを理解するにはなかなか難しいと感じていますが気持ちに寄り添えるように関わっていきたいと思います。

被保佐人がこれからも安心して不安なく生活していけるように施設のスタッフの方々をはじめ成年後見支援センターの職員の方からも助言をいただきながらサポートしていけたらと思います。

まずは被保佐人の方はあんばんがとっても好きと話されていたので、次回訪問時には差し入れを持って行きたいと思っています。

令和8年度の会費の納入をお願いします。会費は例年通りお 1 人500円です。担当は<村上・松田>ですが他の職員でも対応可能です。すでに多くの方にお支払いいただいておりますが、まだの方は活動センターにお越しの際に後見センターにお寄り下さい。よろしくお願いします。